

K D F かわら版

2018 年（平成 30 年）

11 月 7 日 水曜日

葛飾区歯科医師連盟

区民の健康のための歯科医療

葛飾区歯科医師連盟 副会長 貝塚 浩二

連盟活動Ⅱ選挙活動というイメージを持たれている方が多いと思います。選挙がある時は、選挙活動も行いますが、通常は歯科界の未来を考えて、それを具体的な政策として組み立て、行政に要望や提言をする、といった地道な活動をしています。

今、日本は人口の減少と高齢化が進んでいます。厚生労働省によると、日本の65歳以上の高齢者の人口は2025年には全人口の30%を占めると見込まれ、さらに2055年には約40%となると予想されています。今後、世界に類のない超高齢社会になることが確実です。高齢化が進むにつれ



て要介護高齢者の数は増加し、1993年に約200万人だったその数は、2025年には約530万人に増加すると推計されています。

歯科医師、衛生士

による高齢者に対する口腔ケアは、感染症に対する予防効果だけでなく、心臓病、や糖尿病、認知症の予防にも効果的です。病院によつては、歯ブラシ等の販売、歯科ユニットと衛生

士を常駐させている所もある時代ですが、我々歯科医師サイドに口腔ケアは任せ頂きたいですね！

我が国の歯科医療従事者の適正な業務環境を維持し、高い水準の歯科医療を国民の皆様に還元するため、すなわち「区民の健康のための歯科医療」の実現のために、更には、国民に対する歯科医療を担う歯科界がもっと明るくなり、歯科医師を守る施策を政治に反映させていくために、努力を続けていき、国民の歯科医療を守り、会員の生活を守るため日々活動しているのです。



歯科の現状

歯科医師過剰問題が話題になり早30年が過ぎようとしている。

稚拙な将来推計により始まった構造的問題は解決の出口さえ見つからず、現在現役の我々開業医は常に逆流の流れの中を必死に上を向いて泳ぎ続ける日々を過ごしてき

たと言つても過言ではない。歯科医師過剰と騒がれているが、実際のくらしいのだろうか？

現在歯科医師数は約10万2551人、2030年には13万5000人になると予測され歯科医院の数も2020年には7万件、2030年には8万件以上になると予測されている。現在の1.2倍近くになります。

都内の歯科医院の一軒あたりの月間患者数は157件まで減少し、高得点レセプトを許さない監査制度により、統制経済下で国家的に所得をコントロールされ、2010年をピークに日本の人口減少はさらに我々歯科医師の経営を圧迫するかに見える。

歯科医師は国民皆保険制度の中で、日本の総医療費40兆円のうちのわ

ずか5%である2兆円の中で仕事を行なっている。つまり10万人の歯科医師で割った場合、一人あたり2千万円の医療収入ということになる。

可処分所得が30%（都内における経費を引いた場合の利益率）であることから考えると、平成22年度の582万円という数字はほぼ妥当性のあるものである。年間売り上げ1億円以上が4%、7000万8000万が10%、5000万が58%です。2017年に米国のU.S. Newsから発表された、The 100 Best Jobs RANKING（いい仕事ランキング）のナンバーワンはなんと2年連続歯科医師であった。アメリカは日本よりさらに歯科医師の需給関係は逼迫した状態にあるにも関わらず、何故このような差が生じたのである。虫歯治療1本25万円だそうす。アメリカの医療費や歯科治療費が何故こんなに高いのかは、以前の記事でも少し書いたと思うのですが、アメリカの医療保険は民間の企業が運営していて、「利潤」を求め



る為に運営されているからなのです。そして、国が医療費をコントロールしないので、医療費はどんどん上がり、その医療保険をカバーしてくれるハズの保険会社も、民間の企業であるが故に「利益を出す事が第一」なので、「国民の医療を助ける事はその次の次・・・・位なのではないだろうか。

ど専門分野を明確にして開業を図る人もいるが、今はすべての分野をこなせないといけないみたいである。益々休みが減ってしまいが、またそれも楽しい歯科ライフだ。ただ稼がないとセミナー代たかいよね！

今後は、高齢化社会の到来に伴い、歯（口腔）と全身の健康についての関係性がクローズアップされるなど、新しい知識と技術を身につけた質の高い歯科医師の活躍が求められていくだろう。

追悼文

倉沢よう次 区議会議員を偲んで

葛飾区歯科医師連盟 元会長 加藤 静悟



平成三十年七月二十三日セレモ新小岩で執り行われた通夜の参列者は、とぎれる事なく粛々と続き、現役葛飾区議会議員の急逝を悼みました。

倉沢よう次先生は、昭和二十二年一月六日葛飾区新小岩に生まれました。昭和五十五年葛飾区議会議員に初当選され、以後、連続当選を続け、第55代区議会議員、自民党東京都連23区区議連

協会長、自由民主党葛飾支部幹事長：等歴任されました。強い意志を持ち続けて、葛飾区議会の古い体質を改革した議員でした。

葛飾区歯科医師会の大先輩の先生方が、「ひまわり歯科診療所」を全国に先駆けて、立ち上げた時期と倉沢議員誕生が非常に近い事もあり、平成二十五年六月四日発行の「葛歯連盟広報」に寄稿された「歯と口腔の健

康を願って」の文章にみられるように、葛飾区歯科医師会の活動と歯科医師会会員の先生方の活躍に理解と感心を強く持たれた議員でした。

その文章の中に「私たち自由民主党議員団は、このような、区政における歯と口腔の健康の現状を深く認識し、さらなる充実を進めますとともに、その実現に欠くべからざる歯科医の経営基盤の安定に、平沢代議士や都議とも連携して強力な取り組みを行ってまいります。」とあるように、真摯に葛飾区歯科医師会の歯科地域保険活動を応援してくれた議員でした。

倉沢議員は、自分より仲間の勝利を第一に考え、演説会場、街頭演説の場所、各演者、スケジュールなど作戦計画を立て、当日に葛飾区歯科医師連盟に応援演者の依頼が来る、場所が決まる、など、選挙妨害に備え万全の対策を練る。又、葛飾区は、区長、区議同日選挙のため、区長候補の応援も加わるため、多忙だ。当然、自分の演説会場到着が遅延する。応援演者の持ち時間が、5分、10分、20分と延ばされる。葛歯連盟の理事者の演説も延びる事になる。理事者は、同日5〜7会場で各々待機するなどで、午後八時終了予定が、大幅に狂う。それが連日続く。投票日の夕方は、倉沢事務所にて、御家族、応援者と十一月下旬の寒さの中、ストーブを囲み結果待ちと

なる。

なかなか、倉沢候補の当確が出ない。自民党候補者全員と区長候補の応援に常に時間を割くため、いつもギリギリ。当選が、翌日決まる事も。葛飾区歯科医師連盟の理事者は、ヘトヘト。しかし、公益社団法人葛飾区歯科医師会を真摯に見詰める倉沢よう次議員の応援であれば、心地良い疲労感が、残るだけでした。

これからも、何かと御指導いただこうと思っております。

心から、倉沢よう次先生の御冥福をお祈り申し上げます。



葛飾区歯科医師連盟 移動理事会

平成三十年七月十三日 金曜日

七月十三日午後七時三十分、亀有の須田にて連盟の移動理事会が開催された。本移動理事会は、連盟活動の中でも上部団体や政治家の先生方と身近に懇談ができる場として重要な集まりである。

来賓として、国政から平沢勝栄衆議院議員、都政から舟坂ちかお都議会議員、前都議会議員の和泉武彦様、葛飾区から青木克徳区長、秋本とよえ区議会議員のご出席と、それぞれご挨拶をいただいた。引き続き、東京都歯科医師連盟の大越壽和会長、葛飾区歯科医師会（公益社団）の勝俣文良会長、古宮秀記専務、葛飾区学校歯科医会の飯塚務会長、塚本裕介専

務からのご挨拶をいただいた後に、懇親会の開催となった。専務から役員の紹介の後、乾杯を行い、それぞれに歓談の時間を楽しんだ。

出席者はご来賓の他、次の通りであった。高橋文夫会長、加藤秀之副会長、貝塚浩二副会長、長谷川晶秀副会長、杉山征三専務、小泉王介



常務、中島章雄常務、藤井英貴常務、星谷透常務、佐藤大輔常務、山崎俊恒理事、根本貴司理事、井上達也理事、青島裕理事、熊倉伸一理事、奥瀬敏之理事、田中麻紀子理事、深瀬道法監事、細谷正勝監事、佐藤昭顧問、事務局から石川安彦様、千葉明子様、石原明子様。多数の方々の出席のお蔭をもちまして、盛会裏のうちに開きとなった。

葛飾区歯科医師連盟 移動理事会 懇親会 式次第	一 開会（公益社団） 二 開会（公団） 三 開会（公営） 四 開会（公営） 五 開会（公営） 六 開会（公営）
出席者 出席者 出席者 出席者 出席者 出席者	出席者 出席者 出席者 出席者 出席者 出席者

KSPTリーフレット作成報告

理事 山崎 俊恒

平成三十年五月十一日開催の第2回定例理事会において、活動推進プロジェクトチーム（KSPT）のメンバーと活動案について高橋会長から提案と総論的事項の説明がなされ、議案承認されて活動が開始されました。

三、小児の特異性や学校歯科保険への取組み（教育行政との連携）に関する内容（根本理事）

作成し、青島理事にメール添付で送信致しました。メール会議や青島理事がチームメンバーとの直接相談を積極的に行っていたことお陰で、九月十五日のKSPT活動会議で、ほぼ原稿作成が終了し、印刷の発注をする事となりました。

活動の主たる目標は、議員たちに葛飾区歯科医師会の活動を如何にして理解いただけるかであり、その為には解りやすい資料の作成を検討する事となりました。メンバーには、高橋会長、加藤副会長、古宮（社団）専務、塚本（学術）専務、杉山専務と支部選出理事の4名が選任されました。

各担当についての情報収集を、青島理事を隊長として、すぐさま開始。各担当は同月二十一日の僅か十日間で資料を作成しメール会議を行い、六月一日開催の第3回定例理事会で報告を行いました。

七月十三日開催の第4回定例理事会において、行動チーム（支部選出理事4人）の打ち合わせにより、三つ折りリーフレット形式の採用を決め、早速原案作成に入りました。山崎は七月十九日から二十日に山口県徳山まで出張があったので、往復新幹線での移動中に各理事からの資料を元に原案を

実際の支部選出理事により分担された内容は、
一、葛飾区歯科医師会全体の紹介や行政に関わる事業の説明（青島理事）
二、全身疾患と歯科医療（医科歯科連携）に関わる内容（井上理事）

三、小児の特異性や学校歯科保険への取組み（教育行政との連携）に関する内容（根本理事）



会務と資料の充実を目指して

葛飾区歯科医師連盟 会長 高橋 文夫

いつも温かい心でKDFかわら版をご覧いただき、心から感謝申し上げます。かわら版も早や第4号の発行となりました。版を重ねるごとに、少しずつ内容の充実が見えてきた感があります。また、前号で取り上げた「ECC（活動推進プロジェクトチーム）」によるリーフレットの発刊も年内に漕ぎ着ける事ができました。理事の先生方の努力にも心から敬意を表したいと思えます。さて、私は残された任期の中で、さらなる会務と資料の充実を図ろうと考えております。時代の変遷に合わせて、現在、規約の一部改定、運営規定の一部改定、個人情報保護規定の新設に取り組んでおります。過去の様々な事件も、僅かな一脇の甘さから端を発しているのを見ると、今後の会務の継承においても安全対策は必要な案件でしょう。

十月までで、自民党や公明党など政権与党とのヒアリングを済ませ、公益社団法人



葛飾区歯科医師会と葛飾区学校歯科医会の要望をお伝えし、三会の連携も充実させることができ、心から安堵をしております。来年度は、参議院選挙もあります。推薦候補については、上部団体の意向に沿って活動をしてまいります。どうかご協力を賜りたく存じます。移動理事会をはじめとする議員との折衝の折に、歯科医療に関する行政事業の充実をお願いし、区民のため歯科医療発展のためにこれから努力していきますので、葛飾区歯科医師連盟の活動をどうかよろしくお願い申し上げます。最後に、倉沢よう次先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

街の姿、風景は変わる

常務理事 星谷 透

新小岩はドブの街でした。僕の実家、現仕事場のある東新小岩は特に。中でも一番幅広いのが西井堀。葛西用水の一つで、元々は農業用水路だったようです。が、幼少の頃は既に汚く淀んだ水、まさにドブでした。ガードレールのような柵も無く、近所の友達がひとりふたり落ちて、真つ黒な泥姿です。すくい上げられていました。僕も一度落ちたかも。その西井堀から細い水路が枝分かれしていて、子供心に、街は水路で区切られているんだと思っていました。水路の水を抜いて、小さな電車を走らせられないか、と考えた事もありました。

中学以後勤務医を終えるまでは地元と疎遠の時代です。実家診療所に戻ってか

ら改めて地元を知ることになります。東西の新小岩は町工場の街でしたが、バブルがはじけた頃から町工場はマンションや木造の建売り住宅に変っていきます。その所為なのか社保の患者さんが減って国保の患者さんが増えていきました。町工場から住宅へ、の変化は民間で成し得たことだと思いますが、更に大きな変化はインフラ、行政がかかわるものです。ドブは埋め立てられたり、蓋をさすれ暗渠になったりしています。西井堀は親水公園と自転車置き場になりました。枝分かれした水路跡は、小さな電車は走りませんが便利な遊歩道です。蔵前橋通りの新小岩陸橋、林立したマンションから更に空を狭められた気がします。

新小岩東北広場はボウリング場があったところです。北口駅前ではできないの

で、手狭になった南口の補完にタクシールのあるタクシール乗り場とバスターミナルをとということなのでしよう。そして今年、南北自由通路が開通しました。まだ完成ではなく、北口の旧駅舎を撤去して東北広場への流れをスムーズにする工事が残っているようです。平和橋通りのガードの人は減ったように感じます。正直なところ、この自由通路、少々使い勝手が悪いと感じるのは僕だけではないようです。いずれ改善されることでしょう。



原風景が失われていくことに寂しさはありますし、必ずしも関わる人全てに良い結果になるとは限りません。でも区民の便宜と地域の価値を高めることの為には、何かをしなければならぬのでしよう。亡くなられた倉沢よう次先生もこれらに相当なご尽力をなさったことと思います。思い半ばであつたかとお察いたします。ここよりご冥福をお祈り申し上げます。

会 務 報 告

7/6(金) KDFかわら版第3号発行
第3回三役会

7/13(金) 第4回定例理事会／移動

8/2(木) 城東地区連合会総会懇親会

9/7(金) 公明党意見交換会出席

9/14(金) KSP Tミーティング、

第4回広報部会

10/2(火) 秋本とよえ懇談会出席

10/5(金) 第4回三役会

10/12(金) 第5回広報部会

第5回定例理事会

10/16(火) 筒井たかひさ懇談会出席

10/17(水) 自民党意見交換会出席

10/19(金) 臨時三役会

10/31(水) 平沢勝栄政経文化セミナー

11/7(水) KDFかわら版第4号発行